

# 上尾市立原市南小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

## 学校教育目標

- よく励む子
- 心さわやかな子
- 粘り強い子

## 学校課題研究主題

「思い」を生かして、生き生きと表現する児童の育成  
～自己肯定感を高める活動を基盤として、  
児童の主体性を伸ばす授業の実践～

## 学力・学習状況調査の結果

R6 全国学力・学習状況調査	R6 埼玉県学力・学習状況調査	R5 上尾市立小・中学校学力調査
<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語の平均正答率は県、全国平均と同程度か上回っている。また、思考・判断・表現は全国・県よりも上回っている。</li> <li>○算数の平均正答率は県、全国平均と同程度か下回っている。また、知識・技能は全国・県よりも若干上回っている。</li> <li>●国語は、主語と述語の関係が課題として挙げられる。</li> <li>●算数は、思考・判断・表現が全国・県よりも正答率が低く、既習事項と関連付けることが課題として考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語・算数ともに学力レベルは、埼玉県・上尾市と同程度である。（4年）</li> <li>○国語・算数ともに埼玉県・上尾市と同程度かやや上のレベルである。（5年）</li> <li>○国語は埼玉県・上尾市と同程度の平均レベルである。（6年）</li> <li>●算数における記述する解答や自分の考えをまとめて答える問題に課題が見られる。</li> <li>●物事の見方を変え、既習事項と結び付けて考えることに課題が見られる。</li> </ul>	<p>【観点別正答率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語の2年、4年、5年、6年は目標値以上、または同程度である。</li> <li>○算数の2年、4年、6年は目標値と同程度である。</li> <li>●国語の3年は目標値よりも6ポイント低く、主体的に学習に取り組む態度に課題が見られる。</li> <li>●算数は3年、5年は目標値よりも低く、思考力・判断力・表現力と主体的に学習に取り組む態度に課題が見られる。</li> </ul>

## 本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>①物事を中心を捉え、新たな問題場面に使える知識・技能を習得する力</li> <li>②よりよく問題を解決するための方法・知識の獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③既習事項や生活経験などの先行経験をもとに、考えの根拠を明らかにし、筋道立てて説明・記述する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④自分の心を律しながら、意欲的に問題解決に向け、粘り強く取り組む力</li> </ul>

## 学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>○相違点や類似点に着目して問題を把握し、課題を焦点化する過程を大切にすることで授業の中心を捉えられるようにする。</li> <li>○内容のまとめに加えて学習方法の振り返りを行い、有効な方法を価値付けていくことで方法知を獲得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けながら考えたり、説明したりする過程を重視した学習を行う。</li> <li>○児童の発達段階に応じた思考の成長の系統を明確にした指導計画を立て、実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の必要感に基づく問題解決型の授業を展開することで、児童の主体的な活動が継続できるようにする。</li> <li>○児童の実態に合わせて、スモールステップで課題を与えることで、達成感や成就感を味わわせる。</li> </ul>

### 本校の特色ある取組

- 図画工作科の充実した取組
- 学校応援団
- 保幼小連携教育
- 小中一貫教育
- 学校ICTの推進
- 学習規律
- 生徒指導教育相談
- 家庭学習
- 体力向上
- スピーチコンテスト
- イングリッシュカフェ

### 家庭教育との連携

- 学校の教育活動についての情報発信
- 学校公開の実施（実態の共通理解）
- 学校応援団の活用
- PTAとの情報共有
- 自ら考え、学ぼうとする家庭学習への取組